

平成29年度 課の事業一覧

組織名	交通局 総務経営課・運輸課		重点項目	公共交通ネットワークの維持(市営路線バスの維持)						
	課長名	岩永 剛・本村 浩幸		コスト	事業費	平成29年度当初予算額(A)	2,208,350 千円	目安の金額	課長	—
平成28年度当初予算額(B)			2,205,120 千円			人件費	—		千円	係長
				増減額(A-B)	3,230 千円				職員	—

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			第2次北九州市営バス事業経営計画	<p>○取組期間 平成28年度から平成32年度までの5カ年</p> <p>○取組方針 (1)安全・安心な運行の確保 (2)地域社会への貢献 (3)収入の確保 (4)路線の再編 (5)人材の確保 (6)業務の改善</p> <p>○取組目標 安全・安心な運行を確保し、利用者サービスの向上に努め、職員一丸となって利用促進等に取り組み、収支均衡を維持する。</p> <p>○評価・検証 取組開始3年後に、期間中の取組内容及び結果の評価・検証を行う。運用に当たっては、社会経済情勢の変動等に対応して、随時必要な見直しを行う。</p>	<p>安全・安心な運行の確保</p> <p>地域社会への貢献</p> <p>収入の確保</p>	<p>車両の老朽化</p> <p>安全・安心な運行の確保</p> <p>不採算路線の維持</p> <p>子育て支援制度の導入</p> <p>地域と密着したバス利用促進</p> <p>利便性の向上、利用促進</p>	<p>老朽化したバス車両2台(乗合1台、貸切1台)を更新。乗合バスについては高齢者や障害者でも乗降しやすいノンステップバスとする。</p> <p>平成28年度に導入したドライブレコーダーにより、安全・安心な運行を図ると共に乗務員の安全意識の向上や省エネ運転による経費削減を図る。</p> <p>バスの利用者が少なく輸送効率の悪い不採算路線においても、路線の維持に努め、地域住民の足を守る。</p> <p>子どもと子育て家庭を地域社会全体でさらに支えていくため、幼児全員の運賃無料化や妊婦運賃の軽減など、新たな子育て支援制度の導入を検討する。</p> <p>免許返納者への割引制度の導入や平成28年度に導入し好評を博しているキャラクターラッピングバスを増車し、路線での運行やPRイベント等で活用することにより利用促進を図る。</p> <p>利用者の利便性の向上や利用促進を図るため、他の事業者のシステムと互換性のある新たなICカードシステムの導入に向けて、引き続きシステム方式等の検討を行い、入札・契約準備を進める。</p>	2,205,120	2,208,350	3,230

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	業務目的	課題	課題解決に向けた強化・見直し内容	平成28年度 当初予算額 (千円)	平成29年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
				第2次北九州市営バス事業経営計画	<p>○取組期間 平成28年度から平成32年度までの5カ年</p> <p>○取組方針 (1)安全・安心な運行の確保 (2)地域社会への貢献 (3)収入の確保 (4)路線の再編 (5)人材の確保 (6)業務の改善</p> <p>○取組目標 安全・安心な運行を確保し、利用者サービスの向上に努め、職員一丸となって利用促進等に取り組み、収支均衡を維持する。</p> <p>○評価・検証 取組開始3年後に、期間中の取組内容及び結果の評価・検証を行う。運用に当たっては、社会経済情勢の変動等に対応して、随時必要な見直しを行う。</p>	路線の再編	利便性・経済性を考慮した路線網の再編	宅地開発等の状況に応じて、路線の新設や既存路線の増便等を行う。また、複雑に入り組み、経済的にも非効率となっている路線について、利用しやすく分かりやすい路線への再編を検討する。			
						人材の確保	バス運転者の継続的な確保	2ヶ月毎の採用試験や効果的な広報などにより、継続的な確保を図るとともに、女性運転者が働きやすい勤務体制や職場環境の改善を実施する。			
						業務の改善	業務改善	コスト意識を徹底し、エコドライブによる燃料費削減や営業所所属車両の適正配置等による回送距離削減など、絶え間なく業務改善に取り組む。			